

# 令和 7 年度防鹿柵設置および過年度設置防鹿柵の機能強化

## 1. 実施概要

### 1.1. 機能強化

過年度設置防鹿柵の効果検証調査から、奈良阪町内において維持管理上の課題が明らかになった R06-1,R05-1,R05-2,R04-1 の 4 防鹿柵を対象に、機能強化のための事前調査及びそれらを踏まえた農家への機能強化指導の説明会（座学による事前説明、施工及び実演指導）を実施した。

### 1.2. 新規設置

令和 4 年度の農業被害アンケート調査結果を踏まえて検討した防鹿柵の設置計画に基づき、防鹿柵の設置優先度が最も高かった鼓坂地区において、具体的な場所の選定を行った結果、令和 7 年度は引き続き奈良阪町において防鹿柵を設置することとした。設置した防鹿柵は 5 箇所、総延長は 594.6m となった。設置場所を図 1、設置場所の詳細を表 1、線形を図 2～図 5 (p.2～6) に示す。

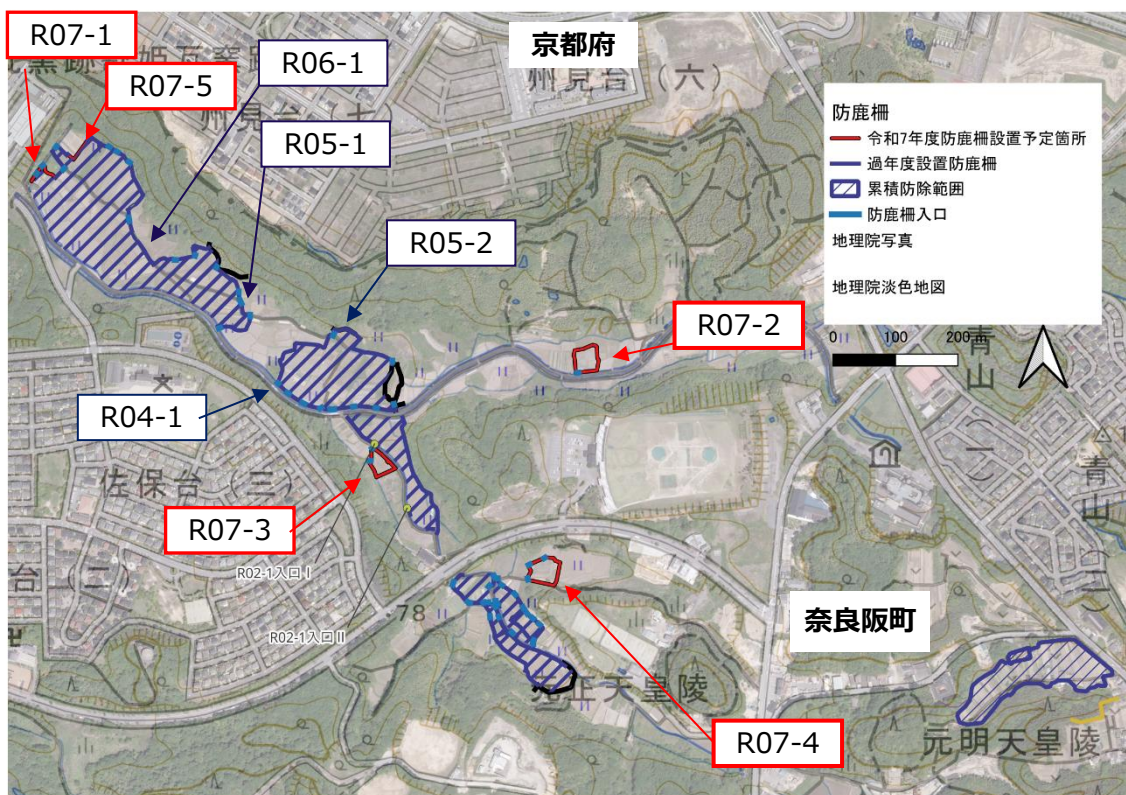


図 1 令和 7 年度防鹿柵設置場所（赤線範囲）

表 1 令和 7 年度設置箇所の詳細

柵番号	実測総延長	防除面積
R07-1	65.8m	0.04ha
R07-2	152.7m	0.14 ha
R07-3	141.1m	0.09 ha
R07-4	169.9m	0.16ha
R07-5	65.1m	※R06-1 範囲
計	594.6m	

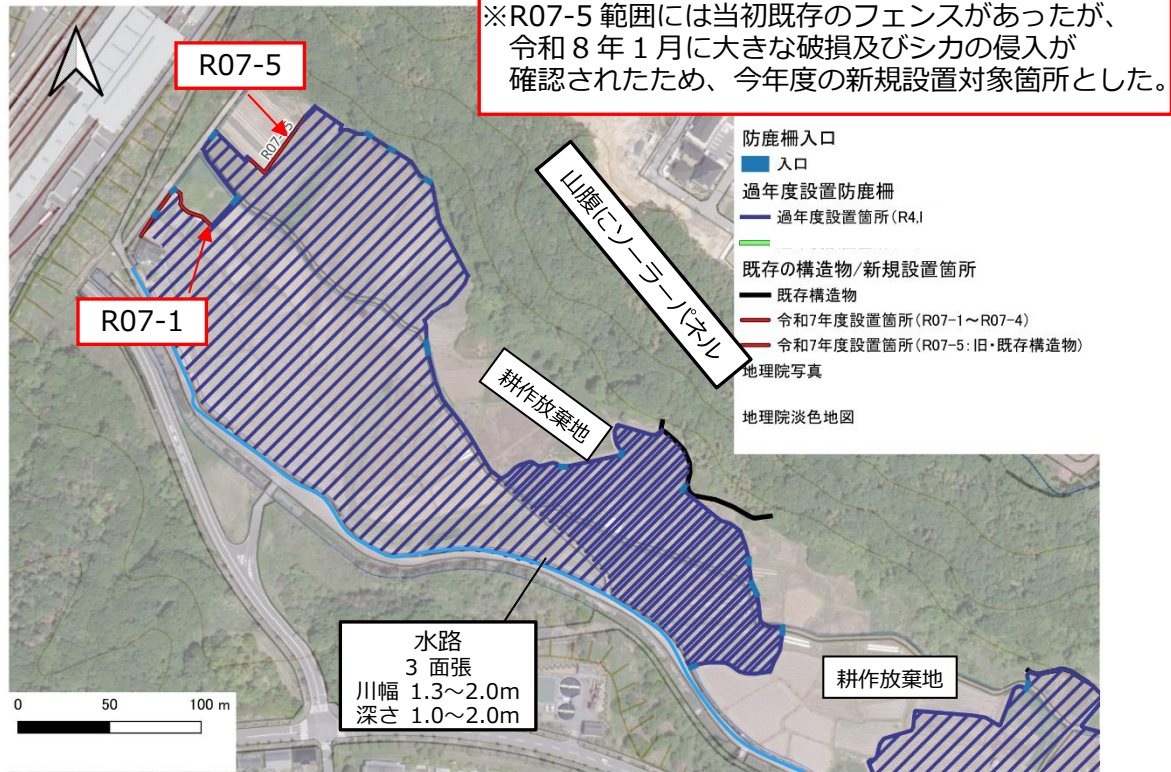


図 2 新規防柵の線形 (R07-1,R07-5)



写真 1 R07-1 における設置前後の状況

	設置前	設置後
R07-5 (既存構造の破損部)		
R07-5 (畔道)		
R07-5(過年度柵接続部)		

写真 2 R07-5 における設置前後の状況

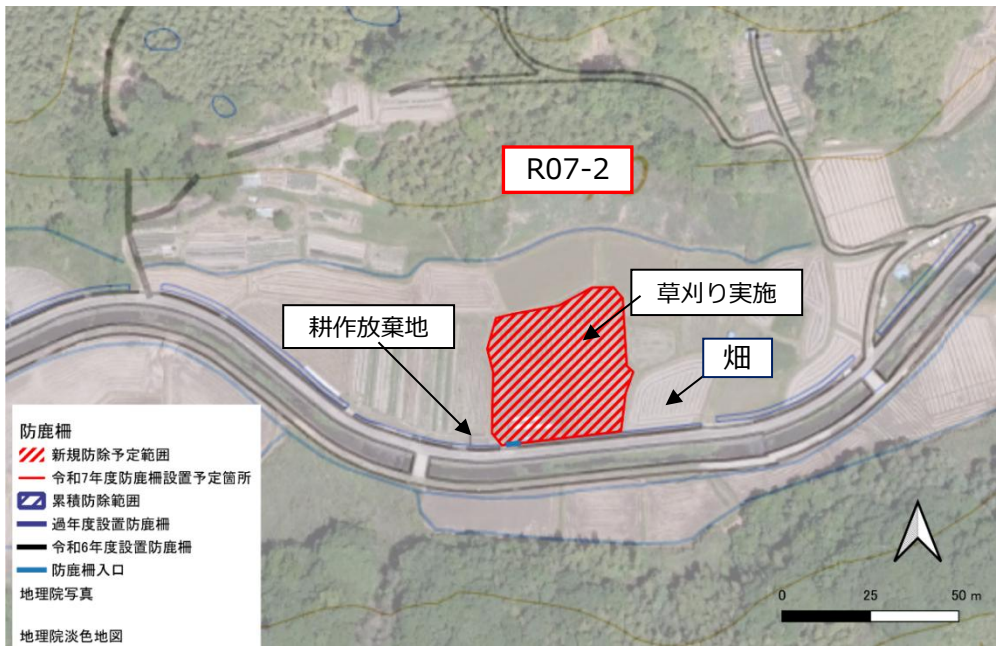


図 3 新規防柵の線形 (R07-2)

	設置前	設置後
R07-2 (全体)		
R07-2 (入口部)		

写真 3 R07-2 における設置前後の状況

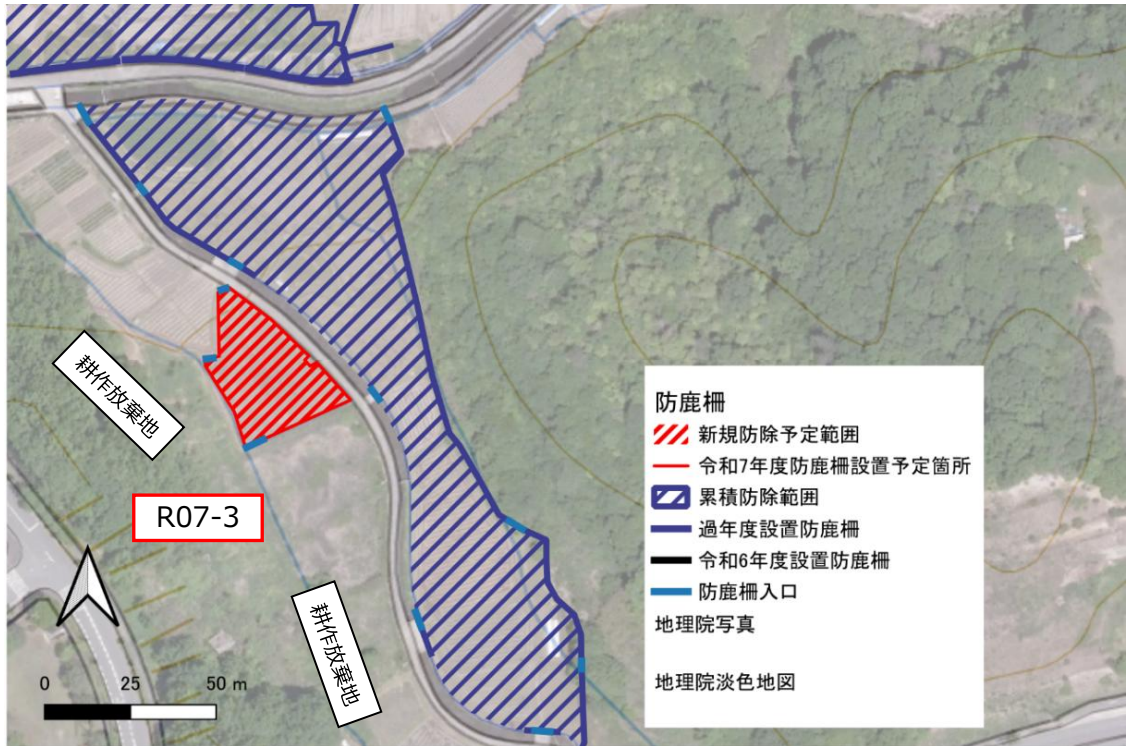


図 4 新規防柵の線形 (R07-3)

	設置前	設置後
R07-3		

写真 4 R07-3 における設置前後の状況

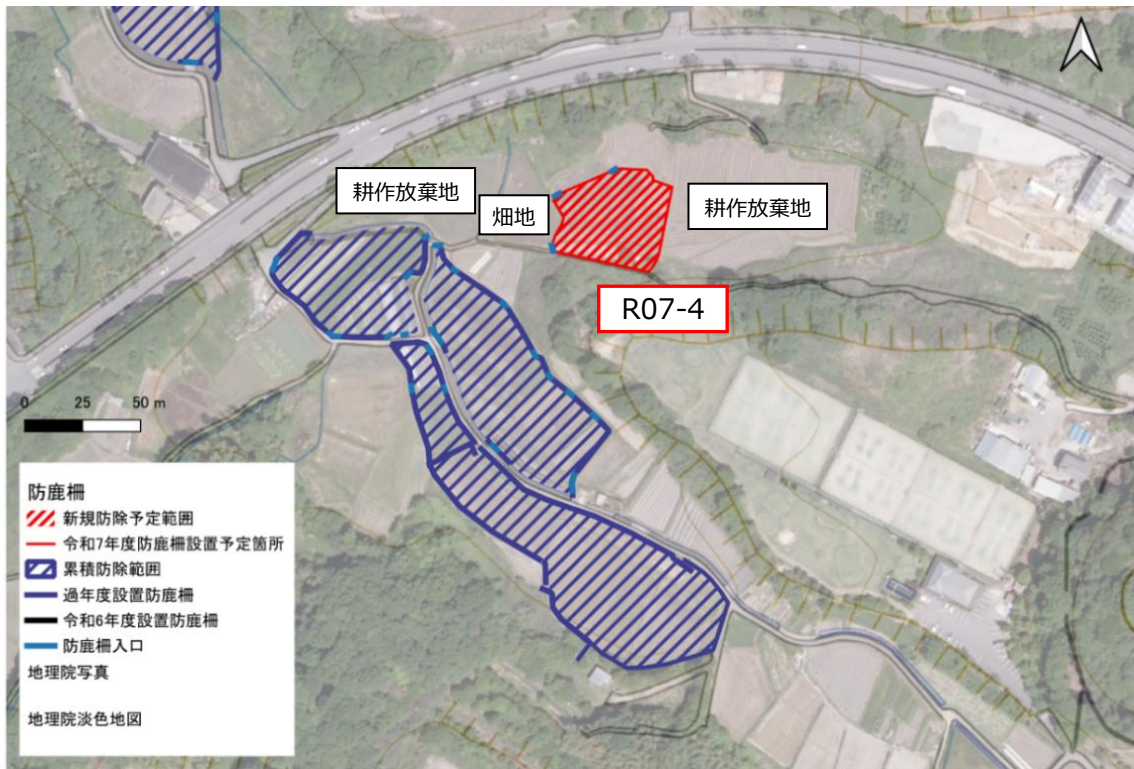


図 5 新規防柵の線形 (R07-4)

	設置前	設置後
R07-4		

写真 5 R07-4 における設置前後の状況

## 2. 構造及び資材における変更

過年度防鹿柵の効果検証調査の結果から、奈良阪町においては農地への執着が強く、従来採用してきた構造及び資材を突破して農地へ侵入する事態が継続的に発生していることがわかった。

このため、高柳委員指導のもと防鹿柵の構造及び資材をより強固なものへ変更し、今年度設置対象に適用した。

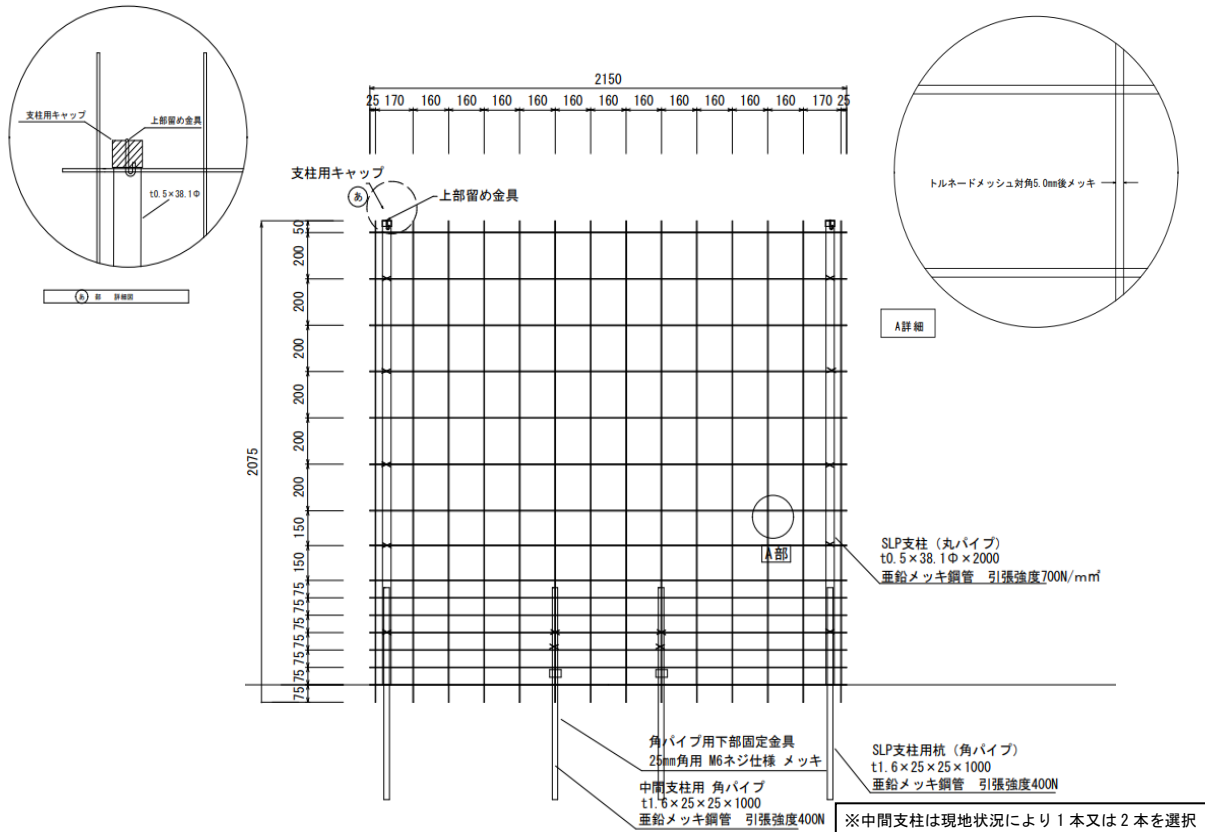


図 6 変更後の柵の標準構造



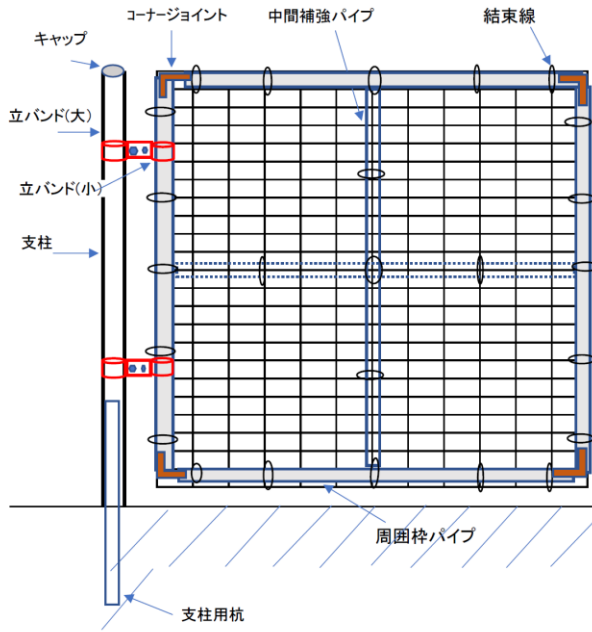
写真 6 防鹿柵の設置状況 (左：過年度、右：今年度)

#2000 type

B=2.0m(片開き)

※両開きの場合は、片開きを組み合わせて設置

2024/12/2



部材詳細		
部材名	仕様	数量
ワイヤメッシュ	φ4.0 1950×1950(75×150目)	1枚
支柱(丸パイプ)	t1.0t×φ38.1×2000	1本
支柱抗用丸パイプ	t1.6t×φ34.0×1200	1本
支柱キャップ	SUS	1個
周囲枠用パイプ	φ15×1910	4本
中間補強用パイプ	φ15×1910	2本
コーナージョイント	L形	4個
結束線	SUS #16×300	25本
蝶番部立バンド	(大)φ38用 (小)φ22用	各2個
支柱用パイプ打込用ボルト		1本
重量/基 約 14.3kg		

図 7 変更後の入口の標準構造



過年度までの入口(ステンレス入化繊ネット)



今年度からの入口(金属製)

写真 7 防鹿柵の設置状況 (左：過年度、右：今年度)